

彙報

(11007年)

六月三日 三重大学日本語学文学会大会  
研究発表 町人の生き方における「適切な出費」  
―貧乏神が嫌う生き方―

上野 貴之(本学学部生)  
郁達夫の作品研究  
史 恵麗(本学院生)

講 演 自分の気持ちを表現すること  
―最晩年の芭蕉の推敲について―

濱 森太郎(本学教授)

七月一四日 四年生・院生研究発表会  
九月一九日 三年生研究発表会  
一〇月 六日 四年生・院生論文中間発表会

(21008年)

二月一四日 卒業論文口述試験  
三月一五日 卒業式  
四月三日 研究室ガイダンス

(21007年度修士論文題目)

史恵麗 郁達夫作品研究論―「沈論」

(21007年度卒業論文題目)

岩井真理子 『伊勢物語』における男の行動について

上野 貴之 『日本永代蔵』の人物の描き方―語り・文体と作家の誕生―

上野 遥 新田次郎山岳小説研究

岡田 紘枝 田村泰次郎作品論―肉体の文学とは―

小林 亮司 『古事記』における助詞「に」の音仮名表記について

中村 杏奈 『古事記』における倭建命―死と白鳥の飛翔を中心に―

中村 友美 奥田英朗『最悪』論

服部 晃明 曾野綾子論―「許し」の文学―

浜 名央 よしもとばなな作品論

平井 志保 『今昔物語集』におけるモチーフについて

丸山いずみ 谷崎潤一郎の作品論

村井 敬子 虚構性から見る『土左日記』論

森田 智哉 仏教説話集『日本霊異記』に於ける「牛」の記述について

森本 千博 ナリ活用形容動詞の連用修飾機能について

山本 光 『源氏物語』における女性の「宿世」について

米川 梨香 『武家義理物語』にみる武士の「美」